

太陽 ASG 拝啓社長殿

経営者のための財務情報 第 436 号

この資料は全部お読みいただいて 105 秒です。

今回のテーマ： 格差への対応

地域差のある地域経済の現況

日銀は 2007 年第 1 四半期の地域経済について 4 月 19 日、全体として緩やかに拡大しているが、地域差がある、東海・近畿の拡大、関東甲信越の緩やかに拡大に対して、北陸・中国・九州沖縄は回復、北海道・東北は緩やかに持ち直しと発表しました（日経新聞 2007.04.20）。

加えて都市部と市町村部間の景況差

太陽 ASG グループが 2006 年 10～12 月中堅企業に対して行った 2007 年の景況感調査で、3 大経済圏以外の政令指定都市、札幌市、仙台市、静岡市、広島市、北九州市、福岡市の景況感+18.2%で、3 大経済圏の景況感+11.2%を上回りました。その他の地方都市の景況感-14.9%です（太陽 ASG グループ Web 情報ライブラリ「テーマ&リサーチ」ご参照）。地域差に加えて、大都市部と市町村部間にも景況感の大きな差が見られます。首都圏などの大都市圏で地価に対する過熱感に警戒の声が上がっても、金利引上げに踏み切れないジレンマがそこにあります。

大都市圏計	+11.2	*所在地別企業数の分布比率	
東京・名古屋・大阪+	9.1	3 大経済圏	40%
政令指定都市	+18.2	政令指定都市	13%
その他の地方都市	-14.9	その他の地方都市	47%

主要各国、中央銀行の悩み

米 FRB は、米国景気減速下のインフレ懸念に困惑。英国中銀は、設定目標を超える物価上昇を受け、さらなる利上げをするのかしないのか。わが国では、早く正常化したい超低金利を、今上げるに上げられない。経済先進各国の中央銀行は目下、金融政策の舵取りに頭を悩ませています（日経新聞、日経金融新聞 2007.04.23）。現在の過敏な世界金融証券市場の背景とも見えます。

例外はユーロ圏

EU は域内の経済成長格差を前提に政策を進め、極めて好調な経済運営と強いユーロを実現しています。ユーロ相場は上昇の一途です。米ドルと 1 : 1 のレートを目指してスタートしたユーロは、1 ユーロ 0.85 ドルまで低下後上昇に転じ、現在 1 ユーロ 1.35～36 ドルでボトム時の 1.6 倍。物価と経済の地域差を克服したユーロ圏の運営と推移は示唆を与えます（日経新聞 2007.04.19）。

お見逃しなく！

格差問題

構造改革の進展に伴い、格差拡大が社会問題となりました。夏の参議院選挙では、地域間格差が政治問題化すると言われます（日経新聞 2007.04.19）。自治体税収の格差是正を財務省、総務省が協議を開始しました（同 2007.04.20、04.25）。ユーロ圏では、スペインなどをはじめとする中規模国の成長と牽引、域内取引の活発化、各国の改革努力もあり、ドイツ、フランスなど低迷していた域内大国も域内投資や経済回復を実現しています。

経済浮上のカギ

赤字幅 3%を上限とするユーロ圏各国の財政協定は、フランスやドイツ、ギリシャの違反を克服して、ユーロ圏全体の財政赤字を 2%まで健全化。新目標 1.5%が浮上しています（同 2007.04.21）。経済状況の相互補完、財政の健全化、改革努力が経済復調のカギを握ると言ってもよいでしょう。